

ふれあい

高校生看護体験特別版

第3号

平成16年8月20日

発行：滝川市立病院
滝川市大町2丁目2-34
TEL 0125-22-4311

編集：広報委員会

www.med.takikawa.hokkai.do.jp

▼患者様の気持ちになり体験

2・3ページ

▼看護体験を終えて感想を発表

▼平成17年度 高等看護学院生徒募集

▼産婦人科外来診療のお知らせ

高校生 一日看護体験実施 5校52人が参加

7月27日、28日看護部主催による平成16年度高校生一日看護体験が行われ、男子9人を含む52人が参加しました。これから看護師を目指す高校生たちが、普段は経験できない患者様の介助と車イスや松葉杖などを体験しました。



左から鎖骨バンド、頸椎固定用シーネ、三角巾

今年で14回目となる高校生一日看護体験が実施されました。病院の大会議室に白衣姿の高校生が集まり、27日は24人(男子5人)、28日は28人(男子4人)が参加しました。毎年、検査技師や薬剤師を志望して

全員が 看護師志望

看護体験をしに来る高校生がいたのですが、今年は珍しくほぼ全員が看護師志望でした。

思いやりの 心を持って

黒田義彦院長は、看護の看という言葉は手をかざして見ると言う意味の漢字で、思いやりの心を持っていないとできない仕事であり、看護体験実習を通して、進路を考え、努力して看護師になって欲しい」と話していました。

ありがとう 言われるよう

言われるよう

看護体験をする前に、小林勝子看護部長の講義がありました。講義では、看護の日(5月12日)「制定の由来について話があり、サインンゲールは、近代的な看護理論と病院の衛生管理の指導、普及に貢献し、いくつかのグラフを説明した人。その誕生日が5月12日でした。」と、高校生たちに問いかけながら話をしました。

最後に、社会全体にケアの心が根付き、人



小林看護部長の講義

「ありがとう」と言われる 看護職を目指して!!

一日看護体験を通して、高校生のみなさんに病院・医療を知っていただき、患者様から「ありがとう」と言われるような介助（お手伝い）をして、将来の職業選択の参考にしていただければと思います。



初めて乗る車イス



普段は入れない放射線科の操作室

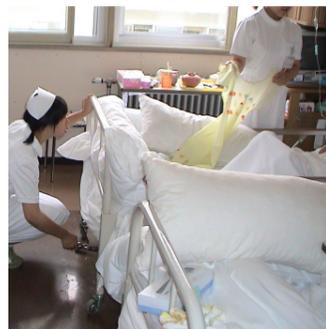


昼食は患者様の食事と同じものを食べました。でも、その前に栄養士による説明を聞きます。

院内見学では、普段職員しか入れない検査室や放射線科の操作室や同じ建物の中にある高等看護学院などを見学しました。



患者様に配膳



みんなで食事の準備



食事の介助を体験

お昼は患者様のお食事を運び、可動式ベッドを操作し、自力では起き上がれない方を起こしたり、食事の介助を体験しました。

高校生
患者様の気持ちになり
いろいろ体験しました

一日看護体験



松葉杖を体験



車イスで院内を散歩



小児病棟で一緒にお絵かき



手洗いは清潔の基本



看護師の指導で足浴



きれいに垢を落とします



入院患者様の洗髪

患者様の使用する松葉杖や車イスを実際に使ってみたり、患者様と直接ふれあい、車イスで散歩をしたり、小児病棟の子供とお絵かきをしました。

入院患者様に協力していただき、洗髪をさせてもらったり、入浴の困難な方の手や足を洗う介助をしました。

看護体験を終えて 最後に感想を発表

患者さんの足を洗わせてもらったとき、初めての体験で緊張しましたが、ありがとうの一言が私に自信を与えてくれました。この「ありがとう」の一言がこんなにも嬉しく思えたのも初めてです。看護師を勤めるにあたって、豊かな知識と技術も大切ですが、思いやりの心を持って接する事の大切さが身にしみるほどわかりました。思いやりの心「これはまさしく看護の原点」であると実感せずにはいられませんでした。

この体験で看護師になりたいという私の意志がより一層強くなったし、もっともって何か人の役に立ちたいという意志もまた強くなったように思えます。

私はずっと看護は人を助けることだと思っていました。が、本当は人間の回復力を引き出す手助けをすることだったのでですね。

部屋の内装は小さな患者さ

今日体験して看護師になりたいという気持ちがさらに大きくなりました。夢を実現するために、今日のことを忘れずに、一生懸命勉強して思いやりのもてる看護師になりたいです。



看護体験の感想を発表

も大切だということがわかりました。

看護師は、人の命の小さな強さ、全てを実感できるお仕事だと思いました。

人とふれあうことはとても難しい事が初めてわかりました。病院の中を見学して、患者さん一人を助けるのに、大変多くの人が関わっていることも知りました。

足浴をさせて頂いた患者さんにお礼を言ったとき、逆に「ありがとう」と言われてしまいました。最も今日一番嬉しかったことです。

病院理念

住民の健康の維持・増進に努め、地域に根ざした質の高い医療を目指します。

基本方針

1. 地域の医療機関等と連携し、住民の生活に密着した最善の医療を提供します。
2. 安心して医療を受けられる環境を整え、職員の安全教育に努めます。
3. 合理的かつ効率的な病院運営により、健全経営に努めます。

患者さんの喜んでる顔を見たとき、「ここに看護の仕事のやりがいを感じるんだなあ」と私も嬉しくなった。

色々な所を見て回りましたけど、人の連携により、病院は動いているんだなと自分なりに思いました。

ご飯を食べさせてあげるだけじゃなくて、自分で食べられるように応援してあげるの

滝川市立病院

ホームページ公開中

www.med.takikawa.hokkaido.jp

診察に便利な医師担当曜日一覧や各部門紹介など盛りだくさんですぜひご覧ください

お知らせ

9月1日から産婦人科の診療は、砂川市立病院からの出張医により月・水・金曜日の週3回午前中の外来診療のみとなります。

なお、子宮がん検診は、予約制で行います。

平成17年度

滝川市立高等看護学院生徒募集

私たちの学院では、ナイチンゲールの精神のもと、根拠のしっかりした科学的な看護が行なえるようなカリキュラムを組んでいます。

実習場所としての市立病院の協力もあり、実習体制も充実しています。意欲をもって看護の道に進みたい方、大歓迎です。教員・先輩の看護学生と共に一緒に看護を学んでいきましょう。お待ちしております。

※入学試験に関するお問い合わせは、9月上旬から下記のところまでお願いします。

滝川市立高等看護学院
滝川市大町2丁目3-2
TEL0125-24-7027